

なくそう「水の事故」

夏シーズンの到来とともに、テレビや新聞で毎日のように取り上げられる水の事故。岐阜県でも昨年、水遊びをしていた小学生が流され3人の尊い命が失われるなど、痛ましい事故が発生しています。

平成26年中に、郡上市内で発生した水の事故は6件で、7月から8月に集中しています。川は魚釣りや水泳、ボート遊びなどのほかに、川原でのバーベ

キューなど必ずしも水に入ること

を目的としない楽しみ方もあります。水の事故は、いったん事故が起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いのが特徴といえます。

自然環境の特徴を理解し、危険な場所、危険な行為などを知っておくことが水の事故を防止するうえで重要になります。

天気や川の変化に注意する

川の状態は上流の天候などによつて大きく変化し、安全と思われる場所でも、上流で大雨が降ると急に増水し水の事故につながる危険があります。

次のような変化が見られるときは増水するサインです。すぐに避難しましょう。

- 上流の空に黒い雲が見えたとき
- 雷が聞こえたとき
- 雨が降り始めたとき
- 落ち葉や流木、ゴミが流れてきたとき

危険な場所での水泳は避ける

流れが複雑であったり、水深が急に深くなったりしている場所は、溺れる危険性が高いため避けてください。また、危険を示す掲示板が設置されているところでは、絶対に水泳をしないようにしましょう。



(掲示板 例)

子どもから目を離さない

水深が浅い場所でも、ほんのちよつと目を離したすきに、足をとられて転倒し流されたり溺れたりする危険があります。川原で水遊びやバーベキューをするときは、子どもから目を離さないようにしましょう。

ないようにはしましょう。

また、ライフジャケットを着用するのも事故防止に有効です。着用する際は、必ず体のサイズに合ったものを選び、正しく着用しましょう。



健康状態が悪いときや、お酒を飲んだときは泳がない

体調が優れないときの水泳や釣りは体に負担がかかり、事故につながる危険が高くなります。川に入ることを控え、適度に水分を補給し日陰で休息するようにしましょう。飲酒後の水泳や釣りも、事故につながりやすく危険です。絶対にやめましょう。

救命講習を受講しましょう

水の事故は未然に防ぐことが一番重要ですが、万がいのために「救命講習」を受講して、普段から心肺蘇生法（胸骨圧迫・人工呼吸）等の応急手当ができるようにしておくことも重要です。

郡上市消防本部では救急講習の受付をしています。詳しくは各消防署・所までお問い合わせください。

- 郡上中消防署 TEL67-1236
- 郡上北消防署 TEL82-5119
- 郡上中消防署南出張所 TEL79-3999
- 郡上中消防署東詰所 TEL77-5119

岐阜県における平成26年水難事故

発生件数 33件 事故者数 43人
 (内郡上市 6件) 事故者数 9人
(単位：人)

内訳	死亡	行方不明	重症	軽症	無傷
事故者数	18	0	0	6	19
43	(1)	(0)	(0)	(2)	(6)

※()内は郡上市内の事故者数